



NEWSLETTER

京都府立医科大学 男女共同参画推進センター



「キャリア支援コンソーシアム“えん”」平成30年度講演会・パネルディスカッション

「キャリア支援コンソーシアム “えん”」平成30年度講演会・パネルディスカッションを開催します

テーマ：みんなで取り組む働き方改革

日時：平成31年3月24日(日) 午後3時～

会場：京都府立医科大学 第一講義室（基礎医学学舎 1階）

プログラム：

総合司会：星野男女共同参画推進センター副センター長

1. 総会 午後3時～3時30分

オープニング挨拶：竹中学長

これまでの啓発事業を振り返って：矢部男女共同参画推進センター長

2. 講演会 午後3時30分～4時30分

「女性外科医の育成とワークシェア・ワークライフバランス」

座長：大辻 英吾（消化器外科学 教授）

講師：力山 敏樹（自治医科大学 一般・消化器外科 教授、自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長）

3. パネルディスカッション 午後4時30分～5時30分

「皆のために働き方改革！～イクメン・イクボスの立場から～」

司会：福井 道明（内分泌・代謝内科学 教授）

パネリスト

力山敏樹講演会講師

大谷 学（京都府 府民生活部長）

張 財源（済生会京都府病院皮膚科 医長）

日向 高裕（京都第二赤十字病院 看護師）

4. 情報交換会 午後6時～

参加費
無料

託児サービスあり
事前申込制・無料

情報交換会は
事前申込要・会費制



「キャリア支援コンソーシアム “えん”」メンバー募集

- 男女共同参画推進センターでは、平成29年4月に広報・啓発事業の企画・運営にご協力いただく「キャリア支援コンソーシアム“えん”」(CCえん)を立ち上げ、メンバーを学内外から広く募集しています。

メンバーになると

1. キャリア支援に関する最新の情報が得られます
2. 各種相談の窓口としてご利用いただけます
3. 講演会等への講師を紹介・派遣します



「CCえん」世話人 (H30.9.1現在)

<学外>

竹村正子(竹村内科院長), 武曾惠理(京都華頂大学現代家政学部・食物栄養学科教授), 池田栄人(京都第一赤十字病院院長), 小林裕(京都第二赤十字病院院長), 糸井恵(明治国際医療大学整形外科教授), 田村秀子(田村秀子婦人科医院理事長), 田邊智子(株式会社京都メディカルクラブ代表取締役社長), 平原直樹(京都きつ川病院泌尿器科部長), 佐藤礼子(厚生労働省大臣官房厚生科学課課長補佐) (卒業年次順)

<学内>

田口哲也(内分泌・乳腺外科学教授), 高山浩一(呼吸器内科学教授), 加藤則人(皮膚科学教授), 福井道明(内分泌・代謝内科学教授), 藤原敦子(泌尿器外科学講師), 金子美子(呼吸器内科学助教), 峠岡理沙(皮膚科学講師), 牛込恵美(糖尿病治療学講座講師) (卒業年次順)

京都府立医科大学
男女共同参画推進センター

病児保育室
運営委員会

広報啓発
ワーキング
グループ

「キャリア支援
コンソーシアム
“えん”」

学内
サポーター

学外
サポーター

男女共同参画推進セミナー&第133回研修医・学生のためのイブニングセミナー

平成30年9月20日(木) 18時~19時 京都府立医科大学 南臨床講義室

「新専門医制度とキャリア形成」 司会：峠岡 理沙（皮膚科 講師）

1. はじめに 「男女共同参画推進センターの取り組み」
伊東 恭子（男女共同参画推進センター副センター長・分子病態病理学 教授）
2. 「内科の新専門医制度とキャリア形成」
座長：牛込 恵美（糖尿病治療学講座 講師）
 - ① 内科新専門医制度について 中村 猛（循環器内科 学内講師）
 - ② 内科専攻医の現状 豊田 真智子（糖尿病内科 前期専攻医）
谷（水野）望未（呼吸器内科 前期専攻医）
3. 「外科の新専門医制度とキャリア形成」
座長：阪口 晃一（内分泌・乳腺外科 講師）
 - ① 外科新専門医制度について 阪口 晃一（内分泌・乳腺外科 講師）
 - ② 外科専攻医の現状 大西 美重（内分泌・乳腺外科 後期専攻医）
森田 翠（内分泌・乳腺外科 大学院生）
4. 「眼科の新専門医制度とキャリア形成」
外園 千恵（男女共同参画推進センター副センター長・視覚機能再生外科学 教授）



「新専門医制度とキャリア形成」をテーマに、京都府立医科大学附属病院卒後臨床研修センター、京都府立医科大学総合医療・医学教育学教室、男女共同参画推進センター主催でイブニングセミナーを開催し、研修医 21名を含む約50名の参加がありました。

まず、伊東副センター長より男女共同参画推進センターの取り組みについての話がありました。次に内科、外科それぞれ新専門医制度とそれに対する本学の対応についてわかりやすく説明していただき、その後それぞれの若手の先生方に専攻医の現状についてお話しいただきました。最後に外園副センター長より眼科の新専門医制度や様々な進路についての講演がありました。

平成31年度のイブニングセミナーは、6月20日（木）に開催予定です。



アンケートより

- 本学における女性医師のキャリア支援の体制、具体的な支援成果がわかりやすく説明されていた。
- Q & A形式で、症例数の話や症例の扱いなど具体的に説明していただき、わかりやすかった。
- 外科で実際に勤務されている先生のお話を聞くことができよかった。
- 話の引き出し方がとても上手であり、結婚、出産も含めたキャリア形成についてよくわかった。
- 現在は女性医師が中心になって女性医師のキャリア形成に対する取組がされているようだが、これからは男性医師も少しずつ巻き込んで参加してもらおう必要があるように思う。

4 大学連携研究フォーラム

- 2018年11月20日に京都学・歴彩館で開催された四大学連携研究フォーラムで、フューチャー・ステップ研究員ならびに、研究支援員制度利用者がポスター発表を行いました。



トリアス祭特別企画講演会

2018年11月3日(土・祝) 10時30分～12時

京都府立医科大学 看護学学舎 1階 第3講義室

第1部：講演『自分の将来像を思い描こう』

講師：北江 彩 (京都府立医科大学
内分泌・代謝内科学 大学院生)

尾崎 玲奈 (京都府立医科大学附属病院 看護部
周産期NICU 看護師)

第2部：座談会 司会：蔵谷美月・迫果凛 (本学 看護学科 2年生)



トリアス祭実行委員会との共催によるトリアス祭特別企画は今年で9回目を迎えました。「自分の将来像を思い描こう」をテーマに、先輩医師の北江彩先生、先輩看護師の尾崎玲奈先生のお二人にご講演いただきました。

北江先生からは、二人のお子さまを育てながら、日々どのように医師の仕事と家庭生活を両立されているか、地方都市での勤務経験や京都市内との子育て環境の違い、内分泌・代謝内科は多様な勤務体制を取りやすく外来診療がメインのため家庭と両立しやすいこと、現在は妊娠糖尿病外来を担当されており、大学院生として研究もされているというお話を伺いました。

尾崎先生は、看護師をめざして看護専門学校に入学されたのち、本学看護学科に編入されました。手話サークルに入っておられたこともあり、大学院では「聴覚障害者の受療行動に影響する要因の検討」についての研究をされ、その後バンクーバーに留学、そこでボランティア活動も経験されました。小児医療センターや周産期NICUで臨床の厳しさと同時に子どもの成長などの喜びを感じながら、障害・疾患に関わらず、地域で心身ともに健康な暮らしができる環境づくりをめざしておられます。

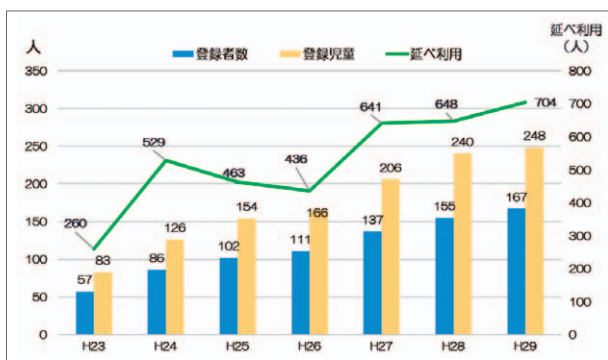
今回は初めての試みとして、会場をカフェ形式にしました。第2部の座談会では、先生方を囲んで学生の皆さんが熱心に色々な質問をされ、予定の時間を過ぎても話は尽きませんでした。



アンケートより

- 子育てしながら家事、仕事を両立されていて、すごいなと思った。働いているからといって何かをあきらめるのではなく、適度に手を抜きながらやっていくことが両立の秘訣なんだと思った。
- たくさんの選択肢があって何をするのも遅すぎることはないんだと思った。ありがとうございました。
- NICUに興味があったので話を聞けてとても良かった。また、大学院や研究について新しく、こういう道もあるんだと刺激を受けた。
- 座談会では、自由に質問ができて、普段授業では聞けない話が聞けてよかった。

病児保育室「こがも」



平成30年12月より、京都市から要請を受け、病児保育室への京都市民の受け入れを開始いたしました。

利用にあたりましては、来室の上、事前利用登録が必要になります。詳細につきましては、HPをご覧ください。

<http://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/careroom/kyotocityscc.html>

病児保育室「こがも」

Eメール kodomo@koto.kpu-m.ac.jp

TEL/FAX 075-251-5272

URL <http://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/careroom/riyou.html>



学内保育所「くすのき」

平成31年度通常保育・一時保育の一括募集は3月6日に締め切りです。募集および年度途中の入所等学内保育所についてのお問い合わせは、以下までお願いいたします。

* 問い合わせ先：京都府公立大学法人 経営戦略室 経営企画担当

(京都府立医科大学 研究支援課内)

TEL：075-251-5208 E-mail：kikaku01@koto.kpu-m.ac.jp



寄附のお願い

平成26年6月に本学男女共同参画推進センター寄附金の募集を開始し、皆さまにご協力をお願いいたしましたところ、これまで（平成31年1月末現在）個人93名、4医学教室、および35法人から6,060,000円のご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

皆さまからいただいた寄附金で、搾乳室の整備や、講演会・ニュースレター発行などの広報啓発事業を実施させていただきました。また、来年度に向けて新たな事業も計画しております。

男女共同参画推進センターでは、今後とも長期展望を見据えた事業計画のもと、性別にかかわらず医師および研究者を支援していきたいと考えています。引き続き、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

寄附のお申込み、詳細についてはHPをご覧ください。

<http://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel/activity/donation.html>



寄附金に対する免税措置について

この寄附金は、所得税法、法人税法による税制上の優遇措置を受けることができます。

法人の場合 法人税法により、全額を損金扱いとすることが可能です。

個人の場合 所得税法により、総所得金額から寄附金の額を控除することができ、税金の対象となる額が軽減できます。

個人住民税（京都府、京都市にお住まいの方）についても控除の対象となっております。



- 平成31年度フューチャー・ステップ研究員（非常勤短時間勤務制度）3名が選考されました。
- 平成31年2月16日（土）に「フューチャー・ステップ研究員、研究支援員制度利用者 研究成果発表会」を開催します。



当センターの名称を「ワークライフバランス支援センター みやこ」に変更予定です。

男女共同参画推進センターは、平成22年度に採択された文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「しなやか女性医学研究者支援みやこモデル」を契機に開設され、これまで「女性と子育て支援」を主眼に病児保育室の開設、フューチャーステップ研究員など柔軟な勤務形態と研究支援員制度導入のほか、数々の啓発事業を企画してきました。

開設から8年を経て、当センターの最終目標である「男性・女性にかかわらず医療従事者・研究者が仕事と個人生活を享受し、充実した人生を歩める環境を整備する」段階にさしかかり、平成31年4月に「男女共同参画推進センター」という名称を時代に即した本学らしい名称「ワークライフバランス支援センター みやこ」に変更予定です。変更が正式に決定しましたら、当センターのHP等を通してお知らせする予定です。

名称変更後も開設当初の基本理念を忘れることなく、子育てや介護に携わる時期のサポート体制のさらなる充実はもちろん、本学教職員全員で効率的な働き方改革に取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

- 「女性研究者等支援相談窓口」を開設しています。ぜひ、ご活用ください。
- 休養・授乳・搾乳等のための女子休養室・搾乳室がありますので、ご利用ください。
▶ 詳しくはHPをご覧ください。



男女共同参画推進センター

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上ル梶井町465
電話 (FAX) : 075-251-5165
Eメール : miyako@koto.kpu-m.ac.jp
URL : <http://www.kpu-m.ac.jp/j/miyakomodel>